



災害に強く安定した経済活動が可能な群馬県の実現

ぐんま・ 県土整備プラン2025

2025 >>> 2034

はじめに

社会資本整備は群馬の可能性を最大限に引き出す未来投資

社会資本整備は、県民のみなさまの安全・安心を確保するとともに、経済成長や持続可能な地域社会の基盤となり、群馬の可能性を最大限に引き出す未来投資です。

知事就任直後、本県は県内観測史上最大となる雨量を記録した令和元年東日本台風に見舞われ、水害や土砂災害により、かけがえのない県民の命や財産が失われました。このため、県民の安全・安心を確保することは最優先課題であると考え、気候変動の影響等により頻発化・激甚化する気象災害の新たな脅威にしっかりと対応できる「災害レジリエンスNo.1の実現」を目指し、防災・減災対策に全力を尽くしてまいりました。緊急度、重要度の高い対策に重点的に取り組んできたことで、県土の強靱化は着実に進展したと実感しています。

また、新型コロナウイルス感染症の脅威により、県政運営は未曾有の危機に直面しました。県民の生命と暮らしを守ることを最優先に据え、迅速かつ的確な対応を講じることで、社会経済の安定を維持することができましたが、知事就任以降は、まさに「守り」の4年間でした。自然災害やパンデミックへの対応に全力をあげながら、未来につながる道筋として財政改革に取り組み、財政の健全化を大きく進めることができたことも、これまでの成果であると考えています。

これからは「攻め」に転じます。これまで財政の健全化とともに、“選択と集中”により防災・減災対策を中心に事業効果の早期発現を図ってきたことで、投資効果の高い新たな事業を立ち上げる好循環を生み出すことができました。この好循環の流れの中で、「財政の健全性を確保しつつ、必要な分野には大胆に投資する」という基本姿勢に基づき、今後は本県の未来を切り拓く礎となる新たなプロジェクトを展開していきます。「群馬から日本を変え、元気にしていく」という気概のもと、新たな富の創出に向け、群馬らしさ溢れる、あるいは世界に誇れるビックプロジェクトにもチャレンジしていきます。

将来を見据え、「攻め」の姿勢で災害に強く魅力的な群馬を創造

一方で、令和6年1月には石川県能登地方を震源とした能登半島地震が発生し、奥能登地域を中心に甚大な被害が発生しました。山がちな半島地形という地理的特徴もあり、道路の寸断により多くの孤立集落も発生しました。水害や土砂災害だけでなく、地震への備えの必要性を改めて実感するとともに、あらゆる危機に対応するためには、地域の実情を熟知した建設産業が迅速かつ柔軟に対応できる「災害対応組織力」が非常に重要であると再認識しました。

「災害に強く安定した経済活動が可能な群馬県」を実現するためにも、建設産業界をはじめとする関係機関との「連携・共創」をさらに深化させ、防災・減災対策のより一層の強化に取り組むとともに、「地域ごとの災害対応組織力の維持」を新たなコンセプトとして掲げ、全力で県土全体の強靱化をさらに推進してまいります。

さらに、「新群馬の創造」として、市町村が目指す先進的かつ独自性の高いまちづくり構想の実現に向け、リーディングプロジェクトを推進するとともに、地域の特性や歴史・文化を反映し、デザイン性と機能性を兼ね備えた公共空間の創出に向け、エリア価値を一層高めるまちづくりを支援します。急速に進行する社会資本の老朽化対策においては、デジタル技術等を積極的に活用し、維持管理の効率化と高度化を図るとともに、インフラメンテナンス産業の成長を促進することで、持続可能な社会の実現を目指します。

今後も限られた資源で最大限の効果をあげるワイズスペンディングを実践し、財政の健全性の確保を念頭に、投資規模を安定的に維持しつつ、複合的な投資効果の追求により、未来につながる持続可能で大胆な投資を進めます。20年後の将来を見据え、「攻め」の姿勢で災害に強く魅力的な群馬を創り、私の最大のミッションである「県民の幸福度向上」のため、引き続き全力で取り組んでまいります。



令和7年3月 群馬県知事

山本 一太

目次

第1部 基本構想編	1
計画の基本情報	2
社会資本整備を取り巻く変化の見通し	3
「ぐんま・県土整備プラン2020」策定から5年間の取組の成果	6
今後の群馬県社会資本整備の方向性	9
社会資本整備は新たなステージへ	14
20年後に目指す将来像	18
将来像の実現に向けた政策の方向性	20
政策・施策及び方策の体系	21
新たな富の創出に向けた未来への投資	22
 第2部 基本計画編	23
政策1 災害レジリエンスNo.1の実現	24
施策1 オール群馬による水害対策の加速化・高度化（流域治水の推進）	28
施策2 大規模災害を想定した事前防災の推進	32
施策3 「逃げ遅れゼロ」に向けた避難のサポート	36
 政策2 持続可能で効率的なメンテナンス	38
施策1 予防保全に基づく長寿命化	42
施策2 効率的な維持管理	44
施策3 新技術を活用したインフラメンテナンス	48
 政策3 未来につながる魅力的なまちづくり	52
施策1 エリア価値を創造する未来投資	56
施策2 持続可能で暮らしやすいまちづくり	62
施策3 地域の暮らしや経済活動を支えるインフラ整備	66
施策4 誰もが安全に移動できる環境づくり	70
 政策4 美しく良好な環境の保全	72
施策1 豊かで美しい自然環境の保全・再生	76
施策2 健全な水循環の維持・回復	78
施策3 地球温暖化対策の推進	80

方策1 社会資本の整備と維持管理の担い手の確保・育成	82
方策1-1 建設産業の働き方改革	84
方策1-2 建設現場の生産性向上	85
方策1-3 建設産業の魅力の発信	86
 方策2 計画の推進に当たって	89
方策2-1 地域ごとの災害対応組織力の維持	89
方策2-2 選択と集中による効率的・効果的な事業の推進	90
方策2-3 社会資本の複合的な投資効果の追求	91
方策2-4 わかりやすい情報発信による県土整備行政の見える化	91
方策2-5 県土整備プランの実効性の確保	92
 第3部 地域計画編	93
前橋地域	94
北群馬渋川地域	96
佐波伊勢崎地域	98
高崎地域	100
安中地域	102
多野藤岡地域	104
甘楽富岡地域	106
吾妻地域	108
利根沼田地域	110
太田地域	112
桐生・みどり地域	114
邑楽館林地域	116
 政策の目的を達成するための指標一覧	118
用語解説	123
群馬県における社会資本整備の歩み	126